

## 安全データシート(SDS)

## 1. 製品及び会社情報

製品名	: 440エクスプレス
会社名	: 株式会社創新
住所	: 東京都豊島区上池袋4-11-16ノックストールビル3階
電話番号	: 03-3918-3100
FAX番号	: 03-3918-3511
推奨用途	: 自動車用板金パテ 巣穴消し剤
使用上の制限	: 業務使用

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体 区分3

健康に対する有害性

急性毒性(吸入:蒸気) 区分4  
 皮膚腐食性/刺激性 区分2  
 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2A  
 発がん性 区分2  
 生殖毒性 区分1B  
 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分1(中枢神経系、血液系、呼吸器、  
 肝臓、腎臓)  
 区分3(麻酔作用)  
 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分1(神経系、血液系、呼吸器)

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期(急性) 区分2  
 水生環境有害性 長期(慢性) 区分3

## GHSラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語  
 危険有害性情報

危険

引火性液体および蒸気  
 吸入すると有害  
 皮膚刺激  
 強い眼刺激  
 発がんのおそれの疑い  
 生殖能または胎児への悪影響のおそれ  
 中枢神経系、血液系、呼吸器、肝臓、腎臓の障害  
 眠気またはめまいのおそれ  
 長期にわたる、または反復ばく露による神経系、血液系、呼吸器の障害  
 水生生物に毒性  
 長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き  
 安全対策

熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。  
 容器を密閉しておくこと。  
 容器を接地しアースを取ること。  
 防爆型の電気/換気/照明等機器を使用すること。  
 火花を発生させない工具を使用すること。  
 静電気放電に対する措置を講ずること。  
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置	取扱い後は手、顔をよく洗うこと。
	粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入をしないこと。
	使用前に取扱説明書を入手すること。
	すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
	この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
	屋外または換気の良い場所でだけ使用すること。
	環境への放出を避けること。
	皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。
	火災の場合: 消火するために適切な消火剤を使用すること。
	皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当を受けること。
保管	汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
	眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
	眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当を受けること。
	ばく露またはばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当を受けること。
	吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
	気分が悪い時は医師に連絡すること。
	漏出物を回収すること。
	換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
	施錠して保管すること。
	容器を密閉しておくこと。
廃棄	内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託し適切に廃棄すること。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物  
成分 :

化学名	含有率	CAS番号	化審法番号	安衛法		PRTR	毒劇
				表示	通知		
タルク	10-30%	14807-96-6	対象外	非該当	非該当	非該当	非該当
キシレン	7-15%	1330-20-7	3-3	≥0.3%	≥0.1%	第一種	非該当 <sup>*1</sup>
エチレングリコールモノブチルエーテル	7-15%	111-76-2	2-407	≥1%	≥0.1%	非該当	非該当
1-メキシ-2-プロパノールアセート	5-10%	108-65-6	2-3144	非該当	非該当	非該当	非該当
エチルベンゼン	1-5%	100-41-4	3-28	≥0.1%	≥0.1%	第一種	非該当
非晶質シリカ	0.5-1.5%	7631-86-9	1-548	非該当	非該当	非該当	非該当
p-キシレン	0.1-1%	106-42-3	3-3	≥0.3%	≥0.1%	第一種	非該当 <sup>*1</sup>

\*1: 純品は劇物、製剤は非該当

### 4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	多量の水と石けん(鹸)で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当を受けること。
眼に入った場合	汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。 直ちに、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当を受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 気分が悪いときは医師に連絡すること。

### 5. 火災時の措置

消火剤	粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素、砂、霧状水
使ってはならない消火剤	棒状注水
災時の特有の危険有害性	情報なし
特有の消火方法	火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。 消火作業は、風上から行う。 周囲の設備等に散水して冷却する。

**消火を行う者の保護具  
及び予防措置**

消火活動では適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。

**6. 漏洩時の措置****人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置**

流出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。  
漏洩時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること。  
風上から作業し、風下の人を退避させる。

**環境に対する注意事項**

流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を及ぼさないように注意する。

**封じ込め及び浄化の方法及び機材****回収**

スコップですくい取り空容器に回収する、取除いた後、残りをウエス、雑巾等によくふき取る。

**中和**

「13. 廃棄上の注意」に従い適切に処理する。

**二次災害の防止策**

こぼれた場所は滑りやすいために注意する。  
付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

**7. 取扱い上及び保管上の注意****取扱い****技術的対策(局所排気、全体換気等)**

気中濃度を管理濃度、許容濃度或は推奨される濃度以下を保つために、適切な全体換気または局所排気を行う。

**取扱者のばく露防止の記載**

取り扱いには、換気の良い場所で行う。  
取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

**接触回避**

「10. 安定性及び反応性」にある混触危険物質と接触しないように取扱う。

**衛生対策**

取扱い後は、手、顔をよく洗い、うがいをする。

**保管****安全な保管条件**

換気の良い場所で、容器を密閉し保管する。  
日光から遮断すること。

**安全な容器包装材料**

オリジナルの容器に保管する。

**8. ばく露防止及び保護措置****管理濃度**

安衛法

キシレン	50ppm
エチレンジグリコールモノブチルエーテル	25ppm
エチルベンゼン	20ppm

**許容濃度**

日本産業衛生学会

タルク(第1種粉じん)	0.5mg/m <sup>3</sup>	(吸入粉塵)
	2mg/cm <sup>3</sup>	(総粉塵)
キシレン	50ppm	
エチレンジグリコールモノブチルエーテル	20ppm	
エチルベンゼン	50ppm	

## ACGIH

キシレン	TWA	100ppm
タルク	TWA	2mg/m <sup>3</sup>
エチレンジグリコールモノブチルエーテル	TWA	20ppm
エチルベンゼン	TWA	20ppm

**設備対策**

屋内作業場での使用の場合は発生源を密閉化し、又は、局所排気装置を設置する。  
取扱場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する

**保護具**

呼吸用保護具: 適切な呼吸器保護具  
手の保護具: ゴム手袋  
眼の保護具: 安全眼鏡、安全ゴーグル  
皮膚及び身体の保護具: 長袖作業衣

**9. 物理的及び化学的性質**

物理的状態	ペースト状
色	灰色
臭い	情報なし
融点/凝固点	情報なし
沸点又は初留点及び沸点範囲	139°C
可燃性	可燃性
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	上限 7Vol%      下限 1Vol%
引火点	27°C
自然発火点	情報なし
分解温度	情報なし
pH	情報なし
動粘性率	情報なし
溶解度	水に対して不溶
n-オクタノール/水分配係数(log値)	情報なし
蒸気圧	情報なし
密度及び/又は相対密度	情報なし
相対ガス密度	情報なし
粒子特性	情報なし
その他データ	情報なし

**10. 安定性及び反応性****反応性**

予想される反応はない。

**化学的安定性**

通常取り扱いでは安定。

**危険有害反応可能性**

通常の保管条件下での反応は予想されない。

**避けるべき条件**

着火源、高温表面、裸火

**混触危険物質**

強酸化剤、強酸、強アルカリ、アルデヒド、アミン、ハロゲン化合物、イソシアネート

**危険な分解生成物**

二酸化炭素、一酸化炭素、炭化水素

## 11. 有害性情報

製品としての有害性情報はない、成分の有害性情報は以下の通りである。

## 急性毒性

経口	キシレン	ラットLD50 8800mg/kg
	エチレンジグリコールモノブチルエーテル	ラットLD50 1746mg/kg
	エチルベンゼン	ラットLD50 4700mg/kg
吸入(蒸気)	キシレン	ラットLC50(4時間) 6350ppm
	エチレンジグリコールモノブチルエーテル	ラットLC50(4時間) 450ppm
	エチルベンゼン	ラットLC50(4時間) 4000ppm

## 皮膚腐食性及び皮膚刺激性

キシレン	区分2
エチレンジグリコールモノブチルエーテル	区分2

## 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

キシレン	区分2
エチレンジグリコールモノブチルエーテル	区分2A
エチルベンゼン	区分2B

## 呼吸器感作性

情報なし

## 皮膚感作性

情報なし

## 生殖細胞変異原性

情報なし

## 発がん性

エチルベンゼン	区分2
---------	-----

## 生殖毒性

エチルベンゼン	区分1B
---------	------

## 特定標的臓器毒性

## 単回ばく露

タルク	区分1(呼吸器)
キシレン	区分1 (中枢神経系、呼吸器、肝臓、腎臓)
	区分3 (麻酔作用)
エチレンジグリコールモノブチルエーテル	区分1 (血液系、呼吸器、肝臓、腎臓)
	区分3 (麻酔作用)
エチルベンゼン	区分3 (気道刺激性、麻酔作用)

## 特定標的臓器毒性

## 反復ばく露

タルク	区分1(呼吸器)
キシレン	区分1(神経系、呼吸器)
エチレンジグリコールモノブチルエーテル	区分1(血液系)
エチルベンゼン	区分2(聴覚)

## 誤えん器有害性

キシレン	区分1
エチルベンゼン	区分1
	製品は粘性が高いため「分類できない」とした。

## 12. 環境影響情報

## 生態毒性

## 水生環境有害性 短期(急性)

キシレン	ニジマスの96時間LC50=3.3mg/Lより区分1とした。
エチルベンゼン	甲殻類(ベイシユリンプ)の96時間LC50=0.42mg/Lより区分1とした。

## 水生環境有害性 長期(慢性)

キシレン	藻類の急性が区分2に該当し、急速分解性がないことから区分2とした
エチルベンゼン	甲殻類(ネコゼミジンコ)のNOEC=0.956mg/Lと急速分解性がないことから区分2とした。

## 残留性・分解性

情報なし

## 生体蓄積性

情報なし

## 土壌中の移動性

情報なし

## オゾン層への有害性

モントリオール議定書の附属書に列記されている成分を含有していない。

## 13. 廃棄上の注意

## 残余廃棄物

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理する。

**汚染容器及び包装**

内容物を完全に除去した後に処分する。

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の規準に従って適切な処分を行う。

**14. 輸送上の注意****国際規制****海上輸送**

国連番号	UN1263
品名(日本語名)	塗料
品名(英語名)	ペイント
国連分類	3
容器等級	Ⅲ
海洋汚染物質	-

**航空輸送**

国連番号	UN1263
品名(日本語名)	塗料
品名(英語名)	ペイント
国連分類	3
容器等級	Ⅲ

緊急時応急措置指針番号(NAERG) 128

**国内規制**

海上規制情報 船舶安全法の規定に従う

航空規制情報 航空法の規定に従う

陸上規制情報 消防法の規定に従う

**その他**

転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

直射日光を避けて輸送する。

**15. 適用法令**

化学物質排出管理促進法	第一種指定化学物質	キシレン(平均値12%)、エチルベンゼン(平均3.0%)
労働安全衛生法	通知義務物質	キシレン、エチレンジクロールモノブチルエーテル、エチルベンゼン
労働安全衛生法	表示義務物質	キシレン、エチレンジクロールモノブチルエーテル、エチルベンゼン
労働安全衛生法	有機溶剤中毒予防規則	第2種有機溶剤等 キシレン、エチレンジクロールモノブチルエーテル
労働安全衛生法	特定化学物質障害予防規則	第二類物質 エチルベンゼン
毒物及び劇物取締法		非該当
化審法	優先評価化学物質	キシレン、エチレンジクロールモノブチルエーテル、エチルベンゼン
消防法	危険物 第4類 第2石油類 非水溶性	危険等級Ⅲ

**16. その他情報**

ITW Evercoat社SDS: Revision Date:07-18-2017, Version12に対応

本SDSは下記規格に準拠して作成しています。

JIS Z 7252:2019 「GHSに基づく化学品の分類方法」

JIS Z 7253:2019 「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法

-ラベル、作業内容の表示及び安全データシート(SDS)」

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上ご利用下さい。このSDSは、新しい知見により予告なく改訂することがあります。